

記入例

授業料減免申請書

「授業料減免・授業料徴収猶予申請のしおり」をよく読んで記入してください。

令和6年10月1日現在の情報を記入してください。

申請区分		※後期・後期変更		非課税世帯							
ふりがな	2023年度入学 2年		□教育学部 () 校								
氏名	教育 二郎		□養護教諭特別科 () 校								
学籍番号	0000		□大学院教育学研究科 () 校								
			※ (修士課程・専門職学位課程 () 専修) (大学記入欄)								
本人	通学区分	前年度の奨学金受給状況	(年額 千円)	給与収入	給与以外						
	※自宅 (自宅外)	(給付型のみ名称と年額を記入)	(年額 千円)	千円	千円						
家族状況	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先・役職名	給与収入	給与以外			
		父	教育 太郎	53	自営業	〇〇商店	千円	千円			
		母	教育 花子	48	パート	(有) 〇〇〇〇					
		祖父	教育 勝男	74	年金受給者						
家族状況	就学者 (本人を除く)	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	設置区分	通学区分	前年度授業料免除結果	授業料年額	
		妹	教育 優子	20	〇〇大学	2	※ ①国立 ②公立 ③私立	※ 1:自宅 2:自宅外	※ ①無 1:全免 2:半免 3:一部	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	536 千円
					※小・中・高校・高専 (大学・専高・専専)		※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1:自宅 2:自宅外	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	千円
					令和6年10月1日現在の就学先・学年を記入してください。		※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1:自宅 2:自宅外	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	千円
					※小・中・高校・高専・大学・専高・専専		※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1:自宅 2:自宅外	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	千円
					※小・中・高校・高専・大学・専高・専専		※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1:自宅 2:自宅外	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	※ 0:無 1:全免 2:半免 3:一部	千円
収入状況	給与収入以外の所得	本人	父	母	祖父					備考	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		給料・役員報酬・専従者給与	320		2,400						
		年金(老齢年金・遺族年金等)				1,200					
		失業給付金									
		生活保護法による扶助費									
		児童扶養手当等									
計	320		2,400	1,200							
収入状況	所得	営業等	2,700								
		農業									
		家賃・地代・利子・配当									
		親戚等からの援助									
		退職金									
		計		2,700							

収入金額の書き方についてはしおりをご参照の上、1年間の収入金額を記入してください。(児童扶養手当等は、月額×12ヶ月で年額を計算し記入してください)

注1) この申請書に記載された個人情報及び関係書類は、授業料減免選考業務のために利用し、その他の目的には利用しません。
 注2) ※印は、該当するものを○で囲んでください。
 注3) 収入状況欄の「給与収入」は、前年1年間の収入金額(源泉徴収票の支払金額欄等)を記入し、「給与収入以外の所得」は前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入してください。
 注4) 在学学校名欄の「専高」は専修学校高等課程、「専専」は専修学校専門課程です。
 注5) 太枠 〇〇〇〇 欄内をご記入ください。赤い枠の中は大学記入欄ですので、記入しないでください。(裏面も同様)

(令和6年10月1日現在)

特別 除 関 係	母子・父子世帯	※(父・母)と(死別・生別) 年 月～ 生別の場合の養育費・扶助費の有無 ※(有・無)				有・無	
	障害者のいる世帯	続柄()	障害者(級)	原爆被爆者(障害 ※有・無)		人	
		続柄()	障害者(級)	原爆被爆者(障害 ※有・無)			
	長期療養者のいる世帯	続柄(祖父)	療養期間	H29年 3月から	※入院	通院・自宅療養・要介護	千円
		続柄()	療養期間	年 月から	※入院・通院・自宅療養・要介護		千円
	主たる家計支持者別居の世帯	1か月あたりの住居・光熱水費 千円				千円	
火災・風水害・盗難等の災害を受けた世帯	被災年月日	年 月 日	被災額	千円			
父母以外の者で収入を得ている者	(続柄) 祖父 (氏名) 教育 勝男					有・無	
	(続柄) (氏名)						
その他	世帯人員	人	学力評価	1 年次	出身校評点	評価方法 7段階・5段階・4段階	
	生活保護世帯	<input type="checkbox"/>	1:適格	2年次以上	入試成績	名中 位	
	独立生計	<input type="checkbox"/>	2:特例		評点平均	入試区分	
特例	<input type="checkbox"/> 選考基準第10第1項対象 <input type="checkbox"/> 選考基準第10第2項対象 <input type="checkbox"/> 選考基準第10第3項対象 <input type="checkbox"/> 意見書付 申請理由(ア～ウのいずれかに○をつけること。ウの場合は理由の内容も記入すること。) ア. 経済的理由 イ. 学資負担者死亡・風水害等の災害 ウ. 特別な理由 () 免除を申請するに至った家庭事情や授業料の納付困難な事由を正確かつ具体的に申請者本人が記入すること。 ※付記事項(無職の者がいる場合はその理由・状況、養育費の有無、独立生計 など)も含め、状況がわかるように、具体的に記入してください。 主たる家計支持者が単身赴任中の場合の家族住所 () 主たる家計支持者が無職・失職の場合の生活費の出所 () 家計収入が就学者の収入のみの場合は本人の月収 (円) 申請者本人の異動履歴(入学後、留年・休学等の異動がある場合は異動内容・理由等を記入すること。) 年 月 日 ~ 年 月 日 (異動内容・理由等:) 年 月 日 ~ 年 月 日 (異動内容・理由等:)						

北海道教育大学長 殿

以上のとおり記載事項に相違ありません。
 以下のとおり関係書類を提出し、貴大学の通知があるまで授業料を徴収猶予くださるようお願いいたします。
 [前後期一括申請の場合] 前後期一括申請の場合、前後期とも「後期分」か「後期変更」のいずれかに○を付けてください。異なる場合には、別途関係書類を添えて後期分授業料減免を申請します。

令和 6 年度授業料の減免を申請いたします。	後期分	後期変更
	○	

注6) 希望する申請欄に○印を記入してください。

※授業料徴収猶予を申請する場合は、別途「授業料徴収猶予申請書」の提出が必要です。
 徴収猶予が許可された場合の納入期限は前期分は9月、後期分は翌年2月の授業料口座引落日を予定しています。

本人	氏名	教育 二郎 (本人が署名すること)		
	住所	〒 令和6年10月1日以降の現住所を記入		
	自宅電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	携帯電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
連帯保証人 (学生保証人カード誓約書に記載した父母等を記入すること)	氏名	教育 太郎 (連帯保証人本人が署名すること)		本人との続柄 (父)
	住所	〒 令和6年10月1日以降の現住所を記入		
	自宅電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	携帯電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当者 チェック欄	/	/	/
--------------	---	---	---